

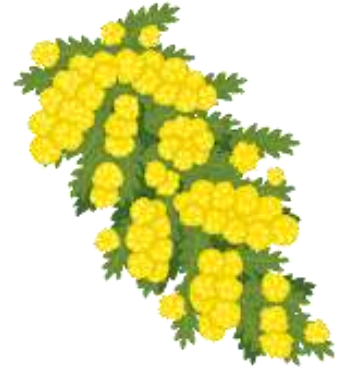
令和5年3月7日

校長室だより

座間市立相武台東小学校

校長 浜田 佐織

第9号



6年生、卒業に向けて・・・

春の陽気を感じる日々が増えてきました。校庭の梅の花や1年生が育てているチューリップの芽の生長などに早春を感じます。2月には久しぶりに時間制限のない、授業参観をしていただきました。子どもたちの頑張る姿や成長ぶりを見ていただけたことと思います。保護者会も含め、ご来校ありがとうございました。

3月はまず6年生の卒業が17日(金)に迫っています。3日(金)は、児童会主催の「6年生を送る会」を行いました。オンラインで1～5年生がメッセージや歌で卒業を祝い、6年生も歌や合奏で感謝の気持ちを伝えました。最後は校舎内を歩き、皆に祝福され照れながらも嬉しそうな表情の6年生でした。互いに心を通わせた会となりました。

さらに2日(木)は、おはなし会のみなさんにも6年生各クラスで最後の読み聞かせをしていただきました。最後の1冊は小学校で初めて読み聞かせてもらった「はらぺこあおむし」でした。愛情のこもった読みきかせを6年間していただいたことは、温かな思い出として、6年生の心に残っていくことでしょう。どちらも詳細はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

1～5年生も現学年を卒業し新学年に進んでいきます。充実感と感謝、そして希望を持ちながら進級できるように進めてまいります。



3/6 開校記念日「音楽サロン」・「PTA お楽しみデザート」

3月6日は相武台東小学校の53回目の開校記念日です。この日に合わせ、素敵なイベントが2つありましたので紹介します。まず、ひとつはコミュニティ・スクールによる、「音楽サロン～開校記念日祝い～」です。6日(月)の昼休みに6年生を体育館に招待し、ピアノ・トランペット・歌の素晴らしい演奏が披露されました。今回の演奏者は50周年行事でオリジナル記念ソングを作ってくださったシンガーソングライターの加々美亜矢さんをはじめ、3名の保護者です。生演奏に6年生はうっとりしたり、リズムにのり一緒に口ずさんだりと、素敵なひとときを過ごしました。1～5年生には7日(火)の給食時に放映します。もう一つはPTAによる「お楽しみデザート」です。コロナ禍で頑張ってきた子どもたちに、この創立記念のお祝いを兼ねてアイスのデザートが提供されました。どちらも子どもたちの笑顔につながる素敵なイベントで、感謝の気持ちでいっぱいになりました。(写真は、ホームページをご覧ください。)

令和4年度 学校教育アンケート結果より

保護者の皆様に、ご協力いただきました、「令和4年度学校教育アンケート」の結果がまとまりました。ご協力に感謝するとともに、学校として、この結果を今後の学校教育活動に活かしてまいります。3日(金)にLINEにてお知らせし、学校ホームページの「学校評価」にも掲載しました。ここでは保護者アンケートの結果と考察の概要をお伝えしますので、詳細はLINEやホームページをご覧ください。

【評価がたかかった項目】(肯定的回答が90%以上だったもの)

○授業がわかりやすく充実している

本校では学習指導要領に示されている主体的、対話的で深い学びについて5年以上継続して全職員で研究を進めてきています。その成果のひとつと捉え、今後も校内研究中心に学校全体で授業改善と充実に取り組んでいきます。

○お子さんが学校が楽しいと言っている

最も肯定的な回答が6割近く、肯定的回答が9割を超える嬉しい結果となりました。コロナの経験値をあげながら、オンライン等も利用したコミュニケーションや感染対策を施した上での学校行事等の実施ができるようになり、そのことが子どもたちの学校生活の楽しさにつながったと捉えています。学習活動はもちろんのこと、日々の生活や行事等、すべての教育活動の中で一人ひとりが居心地良く過ごし、楽しいと感じる学校づくりを継続していきます。

○おたより・ホームページに目を通して

学校教育活動に大きな関心をもってくださることが分かる嬉しい結果です。学校ホームページのアクセス数が年々増え、現在は一日平均2,000件を超えるアクセスがあります。教育活動の内容や児童の様子、迅速な教育情報の提供にホームページは欠かせません。おたよりについては、データでなく紙媒体を希望する保護者も多く、現在は必要に応じて使い分けて配付しています。これからもさまざまな家庭や地域の方々、関係する皆様に学校を理解していただき、共に学校づくりに参画していただけるよう、情報発信に努めていきます。

【課題となる項目】(肯定的回答が80%を下回ったもの)

○学校に要望や意見を知らせやすい

最も肯定的な回答が昨年度より減少し、肯定的回答も80%を下回っています。コロナ禍の中、児童・保護者ともさまざまな困難を抱えながら過ごす状況にあり、学校への要望・意見・相談ができるということは非常に大切なことであると捉えています。次年度からは、保護者向けの相談週間を設け、悩みや困り感、そして意見や要望を伝える機会をつくっていきます。いつでもどの職員にでも、声をかけやすい場面で遠慮なくご相談ください。